

給食 1 年

足利市立西小学校 川島 美代

給食部の仕事に始めてたずさわったこの1年間、これについて数えあげる何物もないが自分の反省としてここに記録してみたい。

[A] 1 学 期

1. 給食五日制実施についての調査

昭和32年度末の調査なので当時の5年生以下を対象としている。

給食五日制実施について

(1)

	1年	2年	3年	4年	5年	計	%
賛 成	58	95	149	198	243	743	77.0
どちらでもよい	11	19	25	58	44	157	16.3
不 賛 成	1	9	12	22	10	54	5.6
無 答	0	0	3	0	8	11	1.0
計	70	123	189	278	305	965	

} 93.3%

給食費納入回数について

(2)

	1年	2年	3年	4年	5年	計	%
1 回	48	84	129	205	201	667	69.1
2 回	12	27	37	35	75	186	19.3
3 回	5	9	18	36	29	97	10.0
無 答	5	3	5	2	0	15	1.6
計	70	123	189	278	305	965	

こうなってくると、いやがおうでも、A型給食実施の方向へ、ただ前進あるのみ。

2. 調理室の環境整理

環境といっても入口の付近であるが、栄養カードをさげる黒板を5日制にふさわしく書き直した。カードをかきたしたりした。また大きな模造紙に

「せんとうの人が木札を持って、みじたく きちんと順を待つ。番がきたならば係の先生に木札を

心、パン箱、食かんを受け取りましょう。

の係や、ミルクの係、きちんときめて順序よく、右側を通りはこびましょう。」と当番の子供注意書きを、そのほか、楽しい給食の漫画を入口の壁に展示する。

食かん、食器、パン箱、ボール、しゃくし、スプーンなど購入、どうやら、まにあうという準備ができた。

当番児童のさばきかた

らいよいよ開始となつたが、まず1番の難関は、給食室前の混雑をどうふせぐかであつた。な全校いっせいで、出入口の別があるわけではなく、せまい調理室前の昇降口で全くのてんやわんやの、カウンターから自分の組のを順にとりだし、出口からさつさとでていけるのをみて本当によましく思ったしだい、しかしうらやんでばかりいても始まらず、係の子供たちの整理の方法はまず重点をおく、注意がきを各クラスに配布、子供会部会の時話合つた、また1、2年は6、3年は5年生にと援助活動を広範囲に求めた。注意がきどおりに、パン係、副食係、食器係、係をきめさせ、木札をさしだしたら、副食とミルク係だけ入口にのこり、ほかの係はそれぞれにさつさといくとか、給食時、白衣を着て、かならずでむいて整理しているうちに、どうやらあという所迄いつた。

係のみじたく

「マスク、前かけをつける事を強調した。係を整頓させながら、そのみじたくを書きとめ、5の1がマスクまで皆そろつて1番よかつたとか、女の子はよいが男は前かけもなかつたとか、食事時に6年の給食部の児童に毎日放送させる事にしたが、「運搬は男にさせるので、く返はどのようなものか。」「マスクはすぐよごれるのでなくてもよいだろう。」などなど先生方の声を聞いた。しかしといたいところであつたが、それも私のやることに興味を持っているからゆえと思ひ直し、それぞれの先生方の声を、よく耳を傾けて聞く事にした。あわたゆまず、きらわれずである。

係以外の子供たちの指導

手洗いの方法、清潔なナフキンの用意とか、いろいろ子供会のたびに話合つてはいたが、給食だ外に出て遊んでいる組もあるので、給食をわけている間のクラス児の態度について、特に講べたことにした。そして給食時、「給食部より申し上げます。待っている態度のよかつた所、1年組、3組、2年は、1組、4組、5組、3年……これからもよく気をつけてください。」と係にわるい事はなるべくいわないように放送させたが……それでも、前と同じように「私の方もよかつたのに、いつ廻つてきたのだろう。」「ちよつとの時間を見て、もうきめては早い。」らいみてたつてよかろう。」などなど、反響はなかなかあつた。係には、はつきりわかるようにつけさせる事にした。受持の先生の注意される組は、みじたくも、待つ態度も、全くよかつた。

しかし大多忙な受持の先生方、私も受持の忙がしさは身にしみているので、なるだけ自分1人で
 たちを動かしたいと始めは考えていたが、それがなんと大それた考えである事か、日がたつにつれ
 良くわかった。何事も、受持の先生方の協力無しにはなしえないという事！ それに駆け出しの給
 主任の私1人が、ああもしたい、こうもしたいと1人で、わあわあ騒ぎ、きりきりまいをすればす
 程、タコの糸が切れたように受持の先生方と分離して空中に浮き上がってしまうということが、
 あせるなかれ、給食反対の声さえ、あまりの煩らわしさにあがる現状であるものを……

6 検食箱の設置

今日の献立には、こんなものが、これだけ使用されています。と その調理したものを上段に、そ
 材料を下段に、箱の上方には小黒板に今日のカロリーと蛋白質とを明示した。なかなか好評で、子
 たちがだいぶのそぎに来た。万一の時は、これを保健所で調べてもらうわけである。

7 パンの残量調査

市教委の要望で始めたものであったが有意義であった。6月10日より約2週間おこなわれた。こ
 調査表は6月20日のものなので、パンを全部食べたという頃のパーセントは、はじめの調査より
 いぶ向上している。

給食用パンについての調査

献立名 { パン カレーマカロニ	6月20日調べ							
	学年	1	2	3	4	5	6	計
全部 たべた	111	136	168	215	204	218		1,052 (73.8%)
½ 以上	54	52	67	40	61	44		318
½ 以下	18	16	12	18	9	6		79
たべない	0	0	0	0	1	0		1
計	183	204	247	273	275	268		1,450

たべたくない理由

学年	1	2	3	4	5	6	計
1 病気のため	5	4	1	1	7	3	21
2 甘味不足	27	0	9	1	8	5	50
3 パサパサしている	0	0	5	3	8	4	20
4 パンがきらい	0	6	8	4	13	2	33
5 少食である	37	58	55	31	27	34	242
6 時間不足	0	0	0	3	8	0	11
7 カレーがきらい	3	0	1	3	0	0	7
8 たべたくない	0	0	0	12	0	12	24 (2.7%)
計	72	68	79	58	71	60	408 (40.8%)

たべぐあい、その日の献立と、おいに関係する。

13日 (パン、ミルク、ポロネーズ) 59%

14日 (パン、ミルク、うずら豆) 65%

18日 (食パン、バター、みつ豆) 80%

19日 (パン、ミルク、かくあげ) 68% わかめのすみそあえ

20日 (パン、カレーマカロニ) 73%

回を重ねるにつれ全部パンをたべたという%も上昇してきている。とにかく、給食用パンに対する関心は高まってきた。

パンとミルクの話

調査に引き続き、大切な主食である所のパンについての話を学校新聞にのせ、給食啓蒙の一端を

パンの話

「パン、パン、パン、あれ!! 猛烈なパンチです、「何を?」「こいつ」。パン、ポカポカいぞですね。こんなにカーツとすくのほせ上ってしまう子は、給食のパンをたべないからな。」「ウソいつてらあ、先生は—」ナンテ声が聞えてきそうですが、本当なんです。なぜつて、そつと落着かせてくれる『カルシウム』という薬がパンの中には入っているんですもの、『カルシウム』この薬は、みなさんのからだの中の、骨や歯を作つてくれる大事なものです。今迄、日本では、必要なカルシウムの量の1/3しかとつてなかつたのです。だから外国人に比べて、体格が小さいのです。さあ、給食パンをたべましょうね。

ミルクの話

度はミルクの話ね、みんなが小さい時、おかあさんのおひざにだつこして『ごくん ごくん』とおっぱいの味……それは、どんなにおいしかつたでしょう!!
「もうミルクないの」「ほく、もつと飲みたいな」りんごのほつべの良い子たちが、おいしいと飲んでいきます。ミルクの食かんは、きょうも「カラツポ、カラツポ、カラカラカラ」と歌います。先生は本当に嬉しい。みんながミルクを好きになつてくれて。

(昭33 6 学校新聞掲載)

ようにとくだけて書いたが、しかし『こんなに栄養があるのだから、がまんしてたべなさい』給食、待たれる給食には程遠い。けれども栄養士の先生がおいでになつてからは、見た目も味も向上したといわれている。私自身も、本当にそう思つている。

食 会

P.T.A.の参観日を兼ねて学校給食試食会を催す。献立は、

パン入りバターロールパン

ミ ル ク

ちくわの磯辺あげ (子供の好きなもの)

ケチャップソテー (子供の嫌いなもの) であつた。360名もの参加者があり、なかなか

食もおいしいです。と好評。栄養価や調理法のプリントもくばつた。その折りの父母の声の代表ものは、

イ、「子供が嫌いなのは、家で作らず、たべられないという事が、大きな原因であろう。」

ロ、「パンもなかなかおいしい。子供が残すのは、あきてしまつたのでであろう。」

ハ、「形をかえたりするとパンも喜ぶでしょう。」

など、学校給食に好意のあるものであつた。

[B] 2 学 期

1. 校内給食部会

楽しい給食、待たれる給食の才1条件は、なんといつても「献立」。みじたくがどう、待つている度かどう、残すな! では給食はとりたくなくなってしまふ。月末に、栄養士、各学年の給食部の生方が集まり来月の献立をきめる。市内での栄養士さんの会合できまつた献立をまず組み入れ、予算の許す限り、子供の喜ぶもの、季節感の溢れたもの、パンも、食パンなどを週1回ぐらいは入るとか、ミルクもココアやレモンあずきを入れるとか、いろいろくふうした。或る月などは、金と2回にわけて、特別に手の込んだものを作つたりした。「みつ豆」「大学芋」などで、子供たち甘党の先生方も大喜びであつた。いつも予算とにらみ合わせての事でなかなか思うにまかせないがたまには本当に良い。これこそ待たれる給食への一里塚である。また、カロリーと蛋白質を栄養士さんに1日ごとに計算して頂いて、子供にくばる献立表に組み入れる事にした。

2. 配膳時間の調査

冷たいミルクも、係がとりにくる寸前に食かんに入れたミルクも、子供たちの口のにぼる迄にのりつたくなつてしまふ。いつたいどのくらい時間がかかるだろうかを、まず6年生だけ(各教室に所あり)いつせいに調査、1週間も続けて、給食時、1組10分、2組8分、3組……と放送してのうち、他の学年でも、「先生計りました。」と紙切れに時間を書いて届けてくれる。5の4、4の5と自然のうちに協力してくれる組があればある程、本当に嬉しい。無理強いはいけなくて常に思ふ。また、所要時間の調査から援助活動にあたる高学年の授業がきちんと終わる事を期待したが、なかなかむずかしい問題であつた。1、2年は待ちくたびれて給食室迄やつてくるし、5時間目あと片付けが延長してしまつたり……または食事時間が短縮されるとか……こうなつてくると、あなた方は、取りに来るのが遅いのね。」と子供を注意した処で始まらない。係1人の手に負える問題ではない。なんとも受持の先生方の力は絶大である。

3. 生活指導部会

まず、全職員で開かれるので良い折りと、いつも給食についての話し合いをお願いしていたが、道徳教育が主目的で始まった会ゆえに、長時間はとれず、他の先生から「給食について話し合いが活潑になっていいね。」「給食についてだけの話し合いが必要だね。」と言われる。私と全く同感、嬉しい話であったが、それではなお、先生方が多忙になるばかり、そこでプリントの協力を求めんと配布、せめて幾分なりと給食啓蒙に役立つようにと思いつつ、次にプリントの原稿を書いてみよう。

1 学校給食の目標 (抜萃)

- 1) 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うこと。
- 2) 学校生活を豊にし、社交性を養うこと。
- 3) 食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図ること。
- 4) 食糧の生産、配分及び消費について正しい理解に導くこと

(昭33.9)

2 学校給食の内容

	パン	ミルク	副食
熱量 カロリー	379	79	141
蛋白質 グラム	10.5	7.8	6.7
価格 円	5.5	1.26	8.0

3 児童1人1回当りの平均所要栄養量の基準

業 種	熱量	蛋白質	脂肪	カルシウム	ビタミン	ビタミン	ビタミン	ビタミン
	cal	g	g	g	A iu	B ₁ mg	B ₂ mg	C mg
量	600	25 内動10	7	0.6	2000	0.7	0.8	20
用	働く力 になる	血や肉 になる	働く力	骨や歯を丈 夫にする	発育がよ くなる	疲れない	発育をよ くする	血液を正常 にする

(昭33.10)

給食

4. 学校給食と弁当との栄養比較表

献立名	栄養素	熱量 カロリー	蛋白質 グラム	価格 円
イ	パン、ミルク、さんまの揚物	612	31.1	15
ロ	パン、ミルク、けんちん汁	606	22.9	14
ハ	パン、バター、カレー汁、つくだに	625	20.1	15
ニ	パン、ミルク、バター、うずら豆	710	29.6	16

弁当

イ	ごはん、のり、卵やき、たくあん	490	14.1	15
ロ	ごはん、さつまあげ、つくだに	490	17.4	14
ハ	ごはん、コロツケ、つけもの	596	12.0	12
ニ	ごはん、魚、煮豆	587	28.2	15

(昭33.11)

給食指導の反省 [其の一 給食準備]

一般児童

1. 援助活動
 - ・1、2、3年への援助について、現状でよいか
 - ・援助する側、される側の希望
2. 手洗い
 - ・せっけん手洗いの必要はないか
 - ・蛇口数と、時間的な問題
 - ・その他
3. 机上清掃
 - ・バケツと台ふきの新設の可否
4. ナフキン
 - ・常に清潔なナフキンを所持させるには?
5. 机の配置
 - ・楽しい給食時のふんい気をつくりたいが?
 - ・短時間でつくる方法
6. 静かに待つ
 - ・食器をまわすとか、係の手伝いをするのもよい

係の児童

1. 服装
 - ・頭おおい、前かけ、マスク、手巾など、どこまで必要か
 - ・援助活動の児童は、特に運搬係の男子は
2. 廊下の歩行
 - ・そろって右側? を歩く
 - ・給食の通路
3. 給食室前での整頓
 - ・パン係、おかず係などきめて、静かに待つ
4. 教室での食かん、食器かごなどの置場、衛生的配慮

五 配

膳

- 短時間に、しかも衛生的におこなうには？
- 必要な道具 { 単価が低く、すぐ納入できるもの
高価だが、必要なもの

そ の 他

- 全員給食をとることは不可能か
とらない子供こそ給食の必要な子供である
- 給食費の未納を防ぐ方法
- 集金法の改善、先生方の負担が重い
- 職員のカロリー不足についての対策
- 給食時間は現状のままでよいか (1時間)
- 給食部への要望

(昭 3 3 1 2 1 2)

部会の時、給食指導反省のプリント (P 8 0) の 1 「援助活動」だけ取りあげて話し合う事

の余、各学年の先生方から、いろいろ意見がでた。

授業がもう少しの時は、つい延長してしまう。」

援助活動はどうしても必要なものであろうか。」

給食も他の教科と同じに考え、びたりと給食時間を始めなくては行けない。」

低学年も、給食をとりにいけるように。」

調理室が混雑しないよう改善されるべきだ。」

かんなど、2つ、手のついたものを使用したら、低学年でもはこべるであろう。」

、良い意見も続出、結局、結論としては『現状では援助は当然である事。』『できるだけ

時間を終了する事。』と、この程度、プリントの才1項だけで会の予定時間は終了、しかし

に全職員で話しあえば合う程給食についての関心が深まり、なるほどな。と、係の気持も大い

てもらうことができるのである。

器 洗 い

りたくないという理由に、食器がきたなくて気持が悪いというのがたいぶあったので、食器

のワンダフルのボール筒を1本ずつ、各組に配布、油の時などは、特に使用してもらう事に

先生方が良く指導してください、子供たちもきれいで気持が良いと喜んでいて、しかし何し

間がないので、『洗わないで後片付けだけになると良い』とはどの先生方も同じ思い。水道の

につに40人の計算なのであるから、推して知るべしである。洗条機でもあればお昼休みも浮く

るが、60万円では手も出ない。「親が死んでもごく休み」とは昔から聞いてはいたが、学校

で通用しそうにもない。

5 給食子供会

ナブキン調査、残菜調査など、〇×式であるが、クラスの給食委員が毎日良くつけた。このほか、折りにふれ子供会の活躍ぶりをのべてきたが、時がたつにつれ、本当に熱心な子供が出て来た。例年の研究会の折りの、みじたくも整い、手甲迄はめて、水の流れのようにさつさ、さつさと当番の子が運んでいく話をしたら、その後、手甲を教えてくれと家庭科の時間に、クラス全員が布を用意して来た。これが本校の口火にでもなればと思いつつ指導する。その後、給食係の白い手甲がぼつぼつ増えていった。配膳車も古いすに車をつけただけの簡単なものを6脚だけ私の方で用意したが、廊下一統きではなく、のせていくのも危いし、教室も狭いしと、あまり利用できそうにもなかったが、「私の方で使わせてくれ」と申しでる先生もあり、また、学級用の車をこしらえる組もあつて、まず子供会の活動としては合格といえようか。

6 栄養指導

栄養士さんの給食日誌の中から取り上げたりして献立の栄養価など、耳からばかりでなく目に訴えたりと柳原でみてきた黒板を6年の分だけこしらえる。そしてそのカードは家庭科の時間、よい食事の単元の発展として全員で赤、黄、緑にわけて作製。給食時、係の児童がその仕事に当るようにして「先生、よくわかりますよ。」と子供らは喜んでた。家庭科の勉強としても、とても役にたった。

じょうぶになる		血や肉になる			働く力になる			こんだて				
								<ul style="list-style-type: none"> ・ パン ・ ミルク ・ カレー ・ こうな 				
								<table border="1"> <tr> <td>熱量</td> <td>609 カロリー</td> </tr> <tr> <td>蛋白質</td> <td>265 グラム</td> </tr> </table>	熱量	609 カロリー	蛋白質	265 グラム
熱量	609 カロリー											
蛋白質	265 グラム											

こんなにも栄養のある給食を、給食指導反省のその他の項にもしるしたが、未だ貧困ゆえにとれた子供がいる。1番給食の必要児なのに。

“1人残らず給食を、”

☆ 『1日1回粉食を』『油と大豆をもつとろう』などのスローガンを掲げて厚生省が主唱する栄養改善運動が、今、全国に繰り広げられている。ところで、日本人は4人に1人が栄養失調の病気ちというのが、先頃厚生省から発表された国民栄養調査の結論。負血、さめ肌、かつけ、これらの気はその日から働けなくなるとか、寝込むとかいうタチのものでないだけに、なお始末が悪い。てそれが遂には短命の原因となるのである。この恐ろしい病気が喜ばしい豊作のもたらした白米

原因であるとは！ 長い間の食生活の習慣を切り替える事は本当にむずかしいが、子供たちの健全な発育に、学校給食の必要性が叫ばれるのである。

児童の体格を見ても昭和31年度に、すでに戦前の最高記録（14年）を越えていたが、32年度の調査結果では、更に上廻り、戦後体位が低下した23年に比べて、身長7cm、体重4.9Kgの増加をしている。これら体位の向上にも、学校給食は大いに役立つといつても良いだろう。

新聞紙でお弁当のおかずをかくすようにしながらたべていた私の子供の頃、隠していたのはお弁当ではなく、先生に言いたい事も言えず、何か常に抑圧されていたが……、何と今の子供たちの隠している事よ、先生と子供と共に同じ物を食べる時 それは単に食事をとつたという事柄のみに問題ではない。パンやおかずが嫌いだからと、とらない者もあるが、本当に憂うべき問題である。児童の心身の健全な発育向上を目標とする学校給食なのである。

11月 給食人員 1522人

10月 " 1512人

9月 " 1502人

毎月約10人程の減少で、さして騒ぐにあたらぬであろうが、在籍数は1580人（11月）で、この数も未給食者がいるのである。全校で32クラスであるから、クラス平均にすれば2～3人程である。その原因をただしてみると、経済的な理由と偏食が殆んどである。1日にすれば15円で極端に安いのだが1か月300円、3人も兄弟がいれば給食費だけで900円の支出となる。給食費補助者が60人も現在いて、未だなおこんなにも残されているのである。毎日1万5千円ぐらい、なんと足りないものかなあ……新聞紙で隠してたべた弁当の頃より、ひと昔もふた昔もたつているという経済的な問題は未だ子供の世界に、教育の世界にまでも、暗いかげをなげているのである。

（昭・33・11・学校新聞掲載）

3 学 期

学期作製の栄養黒板を是非ほしいというクラスがあつて、5年の方にも普及していった。無理に「これをお使いなさい」と、言うより、ほしいなという気持を起させる事の方が大切である。

給食希望箱の設置

毎週ごとに1つずつ給食に対する声を入れる箱を廊下にさげた。『あげパンが1番うまい』『毎日かあげパン、あんパンならいい』『みかんをまた下さい』子供は好きな事を書き入れ、一緒にさげておく。紙の百枚ぐらいは、お昼休みごとになくなってしまふ。目先の変わった事には全く良くとびつく、1年間は全児童書くほどの熱の入れ方であつた。

給食記念週間

おいしい子供たちの声に耳を傾けて、まず特別献立をたてた。

- 2月2日 パン、ミルク、カレー汁
- " 3日 バタロールパン、ミルク、うずら煮豆
- " 4日 菓子パン(新1年検査日 授業午前)
- " 5日 パン、メロンジャム、ミカン、かき玉汁
- " 6日 あげパン、すまし汁

次に給食のポスターや絵、作文などを募集、各級5点を入選作としてノートを買にする。ポスターは廊下に展示、作文は給食時放送をした。子供たちの給食に対する批判の声や嬉しい話など、いろいろ書きたい事もあるが、もう予定の枚数も尽きているので、また次の機会にゆずろう。

3 給食室の改築

最後にひとこと いよいよ2月も終り3月からは給食室の改築工事が始まるのだ。出入口は別になり、カウンターもできる。今まで渡り板にパン箱を重ねていたが、それがカウンターにきちんと並ぶのだ。そうすれば1時間も給食反省会でもんだ援助活動の問題も、たいぶぐあいが良くなってくるだろう。釜場の設計も今度はガスバーナーを取りつけようという話が持ち上っているが……できればこれに越した事はないが、とにかく、これもむずかしい問題である。へやも広くなるのだから、先生子供たち待望の洗糸機は取付かるのだろうか、とにかくこれもむずかしい問題である。片や!ガス従来の石炭の約倍の燃料費、片や!洗糸機は60万、給食室改築の費用もそれ位しか無いとか?、とも心細い話である。心細いと言えば、私がこんなにさも沢山活躍してきたように書き並べてきたこれも皆、皆、心細い限り、1か月の余もお休みが続ぎ、そして新年度の新学期は、せつかく慣れた先生方も、子供たちも、さよならをしたり、係が変わったり、何もかも出直してであろう。改築された食堂と共に再出発である。これでこそ人生はおもしろく、また発展するのであるが、それゆえにこそ私は、この1か年の反省をここにとどめたのである。

給食実施回数

月	開始日	終日	休日と行事	その他	回数	月	開始日	終日	休日と行事	その他	回数
4	12日	より	(3日)	制	8	12	23日	まで	参観日1 成人講座1	土3 日3	15
5			()		12	1	9日	より	休日1 就学時診断2	日3	15
6			(以下5日制)		20	2	24日	まで	学芸会3	土4 日4	18
7	17日	まで	土2	日2	13	3			調理室改築		0
9	3日	より	休日1	土4 日4	18						
10			土4	日4	20	計			(5日制だけ)		18
11			休日1 遠足1	土5 日5	18				平均		

以 上

講 評

「給食1か年」と題された川島先生の尊い実践記録を拝見して深い感銘を受けました。と申しますの
学校給食が学校行事として重要な位置を占めているとはいえ、その運営の内面にはまだまだ幾多の
と努力点をもっているからで、この現状からみて給食責任者としての先生が、これに体当たりし
の価値を発見され、今後への道を開かれたことであります。そしてなんの飾りもない卒直な表現
が、学校給食への問題点を指摘して、その改善意見を述べ、また現状をいかに工夫すべきかの尊
記であるからです。

日の学校給食には調理室の内容充実と環境整備・定められた給食時に子供をどのように活動させ
食事指導の実際はどうあるべきか・給食費等の現実問題が考えられますが、これらの問題点に
先生が付き当って居り、西小の実態に立つてその改善点と工夫点に努力を続けられたこと、とく
の諸点に着目されたことはよかつたと思います。

学校給食の運営は責任者個人がどんなに力んでみても始まらない、給食部員の理解と協力を通し
員の活動を促すよう、あらゆる機会に努力されたこと、全校の問題として各種の実態調査をお願
生活指導部で討議させるなど、学校給食の実際問題点をとらえさせたことはよかつたと思ひ

調理室の充実ということは財政関係上 一挙解決はむづかしいが、給食教育として子供の指導は
努力に平行して開ける点に着目されて、この問題に非常に努力を払われたことは賢明であつたと
ます。

学校給食の教育的価値として組織的運営化のほか、子供個々の栄養教育と健康的価値を見出さ
なければならないと思いますが、食品と子供との関係について先生が強い関心と努力を払われたこと
い着眼と思ひました。

上の3点は私も常々考えて居りましたのでわが意を得たりの感です。

栄養士と調理者の技術的向上をはかる問題があると思いますが、とくに栄養士の活動分野を拡
てやること、栄養士個人の持味を発揮させてやるのが大事なこと、と思ひます。

わりに今後への希望を申し上げますと、学校給食の真のねらいはどこにあるか、どこに価値を見出
さか、これを全職員で研究して盛り上げることで、学校給食の強い協力者を1人でも多く作るこ
を期待したいと思います。たいへん私見が多くなりましたが感想の一端といたします。

(研 究 所 南 木 宏)

あ と が き

このたび現場の先生方の参考資料にさせていただきたいという考えから教育実践の記録才三集を作るべく原稿を募集いたしましたところ、国語科1、社会科2、理科2、特殊教育2、保健(給食)3、計八編が応募されましたが、今回は今までになかった新しい分野の記録が応募されました。これは教育のすべての分野で研究実践が続けられている事が証されたわけで、编者一同心より喜んでおります。又、内容も、たくさんある問題群の中から重要な問題をはつきりつかんで、その問題に鋭く接近していったもの、指導の前提として児童の実態をは握するという立場を明確にして研究されたもの、長期にわたり資料を集め記録されたもの等々。現場の先生方の研究がますます盛んになつておることを感じさせるものばかりで誠に喜びにたえません。

本34年度も引きつづき実践記録の募集が行なわれますが、私共もまだまだたくさんの埋れたしきも優れた研究が残されていることと思しますので、今まで以上に多数記録をお寄せ下さるようお願いいたします。(茂呂)